

（宛先）新潟市長

所在地 新潟市北区葛塚 3197 番地

団体名 葛塚東コミュニティ協議会

代表者名 会長 五十嵐隆吉

実績報告書

令和 5 年 7 月 27 日付け新北地総第 473 号の 2 で交付決定のあった下記提案事業について、新潟市まちづくりパートナーシップ事業補助金交付要綱第 2 1 条の規定により、関係書類を添えて次のとおり実績を報告します。

記

市の課題（テーマ）	提出した部署名	北区役所地域総務課
	課題・テーマ名	自然の魅力や特徴を活かした観光振興
提案事業の名称	子ども達と創り出す「地域の宝箱」	
課題解決するまでの事業全体の 実施予定期間	令和 5 年 9 月 23 日から 令和 7 年 10 月 7 日まで	
交付決定額	交付決定額	2, 000, 000 円
事業実施内容	「雁迎灯」実施報告 1. はじめに 福島潟自然文化祭の象徴的なイベントである「雁迎灯」は、地元の中学生やコミュニティ団体の協力を得て、前年度までは手作業で 1 万本ものろうそくを使って大地に幻想的な絵を描き、多くの関心者に感動を与えてくれました。今年は、持続的な発展と新たな演出のための取り組みを実施しました。 2. 事業内容 従来の「ろうそく灯」を使用した方法から、環境に配慮し、経済的にも効果的な「LED 灯」の使用へと移行しました。	

	具体的には： 従来使用していたろうそく 1 万本余りを、太陽光蓄電 LED ライト約 2,000 本に交換しました。 3. 事業の効果 天候に依存しない演出： LED ライトの導入により、雨や風に左右されず、安定した光の演出が可能となりました。 経費の削減： LED ライトは再利用可能であり、数年間使用できるため、ろうそくや紙コップなどの消費品購入にかかる経費を大幅に削減できることが試算予測されています。 労力の軽減： LED ライトの設置と管理は、従来のろうそくに比べて労力が少なく、撤収ボランティアの負担軽減につながりました。 長期の展示： LED ライトを使用することで、一日限りの実施ではなく、一週間の点灯展示が可能となり、9/24～29 の期間で延べ 1,000 人の観覧者が訪れ、福島県、三条市、五泉市など県内外から来場者があり、雁迎灯を楽しんでいただける機会を増やすことができました。 ※ビュー福島潟施設とコミ協管理スタッフ拘束期間の関係で予定より 1 週間前倒しで終了としました。 4. 将来の展望 先の取り組みの成功を受け、来年も LED ライトを活用した「雁迎灯」を継続して実施してまいります。さらに、来年は残りの 100 万円で 1,000 基以上の増設をして、デザインの改善、今年度の来場者からの要望を参考にして演出やバリエーションを増やすことで、魅力を提供できるよう頑張っております。 5. おわりに 新たな挑戦、「雁迎灯」は再び多くの参加者に感動を提供できるイベントとなりました。今後も進化を続ける「雁迎灯」にご期待いただけますよう、より一層の努力を重ねてまいります。